

ネイチャーセンターだより



11・12月のみどころ

【11月】

風蓮湖のオオハクチョウの数がピークをむかえ、約5000羽になります。たくさんのハクチョウが鳴き交わしたり羽ばたいたり、風蓮湖がとても賑やかになります。また、オオワシがカムチャツカ半島などの繁殖地から渡って来始め、風蓮湖・春国岱でも少しずつ姿が見られるようになります。同様に、オジロワシの数も徐々に増えてきます。海ガモ類など冬鳥たちも次々に渡って来ます。



オオハクチョウの群れ

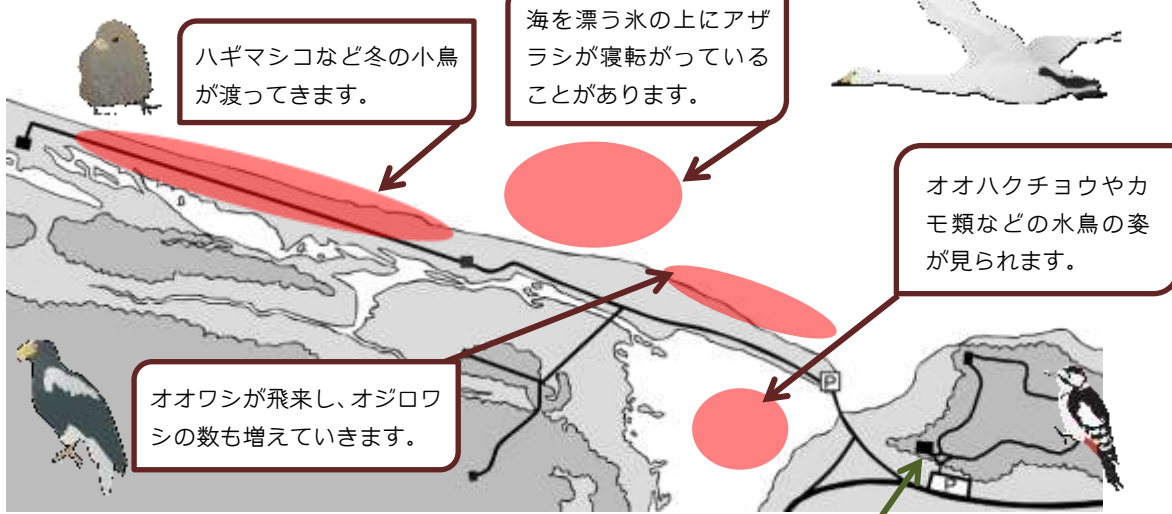


冬のエサ台とアカゲラ

【12月】

風蓮湖を訪れていたオオハクチョウが南へと渡っていきます。ネイチャーセンター前のエサ台には、シジュウカラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、エゾリスなどが訪れるようになります。下旬には、風蓮湖や春国岱周辺の海が凍り始め、ワシ類の数が増えます。また、春国岱周辺の海を漂う氷の上にゴマフアザラシが寝転がっていることもあります。運が良いとネイチャーセンターから望遠鏡で見ることが出来ます。

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

考える果実

秋になると、自然学習林やあちこちの林で、ヤマブドウやナナカマドなどの木々が果実をつけます。果実が熟す頃になると、どこからともなく鳥や動物たちがやってきて、あっという間に果実を食べてしまいます。一見木々が“損”をしているように見えますが、これは自分の種を遠くへと運ぶための、植物のしたたかな戦略の1つなのです。植物は、種子散布のために様々な工夫をしています。



ナナカマド

まず、果実の多くは、赤色や黒紫色をしています（赤系統 41%、黒紫系統 29%）。“赤”は種を運んでくれない虫には見つかりにくく、種を運んでくれる鳥の目につく色です。また“黒紫”は、哺乳類は感知できず鳥は感知できる紫外線を反射する効果があります。こうした色を選択することにより、より移動能力の高い鳥に食べてもらえるようにしているのです。

また、実る時期も工夫しています。春や夏は、鳥が果実以外に虫も食べるようになるため、種を効率よく運んでもらえなくなります。その上、虫による食害を受けるリスクも増えます。秋に多くの果実が実るのは、虫が落ち着き、鳥に食べてもらいやすくするためだと考えられています。

このように果実をつける植物だけを見ても仲間を増やすために様々な工夫をしています。さらに植物には果実を持たない者も多く、それらもまた色々な工夫をしています。多くの実がみのるこの時期は、植物がどんな工夫をしているかを観察し、解き明かす絶好のシーズンです。

春国岱クイズ

冬になると遠くカムチャツカ半島などから風蓮湖・春国岱にやってくるオオワシ。彼らは根室でいったい何を食べて暮らしているのでしょうか？

(A、Bの中から答えを選んでください。)

ヒント：風蓮湖で行われる氷下待ち網漁でとれるものが大好き。



シカのお肉なんか
も好きだよ。

- A. 魚
- B. 木の实

オオワシ

答えは次号に掲載します。(先月号の答え…B)

いきもの図鑑



英名 Common Teal 学名 *Anas crecca*

コガモ (カモ科)

体長34cmほどの小型のカモで、夏はユーラシア大陸や北米大陸などで子育てをします。秋に越冬地へ向かう途中根室を訪れます。風蓮湖などで旅の疲れを癒したり、エネルギーを補給したりしながら過ごします。渡ってきてすぐは雌雄がほぼ同じ色していますが、冬が近づくにつれ、オスの羽色が鮮やかに変わります。主に水草などを食べます。

レポート

フィールド講座①キノコと森のつながり

10月21日、フィールド講座①「キノコと森のつながり」を開催しました。この講座では、年2回専門家を講師にお迎えし、風蓮湖・春国岱の自然や生き物について詳しく解説していただいています。

今回は、春国岱に生息するキノコに焦点を当て、キノコと森の知られざる関係を、講師の奈良泰世さん（北海道キノコの会）に解説していただきました。

当日は、はじめに春国岱でキノコの観察を行いました。木道沿いを探ただけで、動物の尿を分解するオオキツネタケや、猛毒をもつニガクリタケなど、10種類以上のキノコが見つかりました。観察後に行った室内講話では、キノコの基本的な事やキノコと木の共生についてなど、様々な事を教えていただきました。中でも、「毒キノコは人間にとっては害があるが、共生している木にとってはとても重要な存在である」との話に、みなさん感心されている様子でした。

この講座を通して、春国岱の森の成立に携わった影の功労者であるキノコの重要な役割について知ることができました。



今回見られたキノコ（一部）

レンジャー日記

秋も深まり、徐々に寒さが増してきました。風蓮湖周辺の森では、クルミやドングリなどが実り、エゾリスなどの動物たちが森に木の実を食べに来るようになりました。先日は、ネイチャーセンター横の自然学習林でクルミを運ぶエゾリスが、道の駅スワン44ねむろの木道で“ほお袋”を大きくふくらませたエゾシマリスが姿を見せてくれました。

厳しい冬に備えるため、大忙しの季節がやってきたようです。 【記：レンジャー 手嶋】



NEWS

春国岱第三砂丘の木道でクマゲラが目撃されました。

10月7日、春国岱第三砂丘の木道からクマゲラを見たとの情報をいただきました。今年度はレンジャーが調査の時などに、鳴き声や食痕などを確認していましたが、姿を見ることができずにいましたので、姿が確認されたのはとても久しぶりです。

日本一大きなキツツキ“クマゲラ”を見つけたら、ネイチャーセンターにぜひ教えてください。



クマゲラ

行事などのお知らせ

観覧会などへの参加申込み、お問い合わせは…
春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
11月18日（日） 10:00～15:00	ネイチャーセンター祭り ロープを使った安全な木登り「ツリーイング」をはじめ、Jr.アンサンブルねむろによる弦楽コンサートなど、楽しいイベントが盛りだくさん。 <プログラム> 弦楽コンサート/1階 （開始前に1階へお集まりください。） 10:00～10:40 おが粉アート/2階 （時間中は随時ご参加いただけます。） ①10:00～12:00 ②13:00～15:00 紙しばい上演/1階 （開始前に1階へお集まりください。） ①12:40～12:55 ②13:05～13:20 ツリーイング/自然学習林 （開始前に受付をお願いします。） ①12:30～13:10 ②13:10～13:50 ③13:50～14:30	100円	申込： ①ツリーイングは事前申し込みが 必要です。参加を希望される方 は11月13日までにネイチャー センターへ電話等でご連絡くだ さい。定員各回14名程度(先着) ②①以外のプログラムは当日受付 です。 ※対象：どなたでも ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※主催：施設ボランティアグルー プスック
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーで かくされた本物を探すゲームに挑戦。 正解者にはオリジナルバードシールをプレ ゼント!!	無料	申込み不要

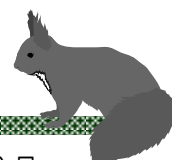
ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボラン
ティアグループスックと個人参加のフィール
ドボランティアが活動をしています。
レンジャーと一緒に自然を調べたり、観
覧会を開催したり、自主イベントを企画・実
施したりなど様々な活動を行っています。
いつからでも、経験がなくてもはじめられ
ます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300円
ボランティアグループスック 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせる
ように…

- 観覧路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両
の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など
野生動物の生息地です。ペットを
持ち込んだり、放したりするこ
とはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

- ◆11月の休館日：5, 7, 14, 21, 26, 28日
12月の休館日：5, 12, 19, 25, 26, 30, 31日
- ◆11・12月の開館時間：9:00～16:30
- ◆団体ご利用の方へ
自然観察や学習、スライドの上映などのプロ
グラムをご利用いただけます。(要 事前申込)